

12-5 代替が困難だと思われる理由は何ですか。(自由回答)

私がスマホではないので。他にもPC等しない住民もいると思うので。

紙による把握が確か

SNSを使っている人が全てではない

媒体の違いは情報へのアクセス利便性の違い。現在、どこでも見られるネットがいいという方もいれば、自宅に届く紙媒体の方が良いという方もいる。
代替が可能か否かについてなら、正直に言えば全ての記事が代替可能だと思う。ただ情報をネットなどにあげるという意味であれば。
代替が可能か不可能か、難しいか平易かは問題ではなく、どうしたら必要な情報が必要な人に届くのか、をベースに判断していただきたい。

こんなではないと思いますが、ペーパーでいただくと必ず拝見するので、できればこのまま続けてほしいです。

特に、年配者には冊子のほうが読みやすく、最新機器を扱う事が苦手なのではと危惧を持ちます。

パソコンやスマホを持っていない方もいるし、アナログだからこそ見てもらえる内容もあると思うから。「詳しくはネットで」のような情報発信の仕方は情報弱者に優しくない。

広報にもSNSにも載せるのであれば良いが、情報の発信方法を変更してしまうと、インターネット環境のない人に情報が届かなくなってしまう。

長久手には高齢者が多く、スマホを持っていない方も多い。
また、新聞やテレビとネット情報の違いでもよく言われることだが、自分の知りたい情報を検索という形で入手することが多いため、情報漏れや情報の偏りが起こる。紙であれば、めくる過程で興味のあるものに目をとめることもある。

大勢の人に読んで貰うには今の形が良いと思います。

全ての方がパソコンやタブレット、スマホを持っているわけではありません。特に高齢者はそうだと思います。確かに時代はSNSに移行しつつありますが、紙の持っている力の方を私は信じています。

市民全員が、インターネットなど使用出来るとは思えないから

SNSなどは自分から見に行かない限り情報が得られない

お年寄にはSNSはなかなか使いづらいと思うので。

SNSが苦手な人がいるから。

代替手段、SNSを長久手市民全員が利用しているとはかぎらない為。

目の不自由な方々への配慮をどうするか心配です。